

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月26日更新

事務事業名		公有財産災害復旧事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	吉村 幸一
	施策	2	行政改革の推進			所属課	財政課	担当者名	宮本 拓摩
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	契約管財班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 11	項 4	目 1	事業連番 11684	根拠法令	合志市庁舎管理規則	ビル管理法、建築基準法、消防法、電気事業法	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 ~ 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成28年度熊本地震により被害を受けた合志庁舎外壁について、被災度区分調査の実施により、外壁タイルの浮きや破損が多数確認された。来庁者及び職員の安全を確保するため、災害復旧の起債対象事業として災害復旧工事を行う。
【業務の流れ】	・設計委託、入札、契約、施工、履行管理、完了検査、支払い
【主な予算費目】	報償費、需用費(施設修繕費)、委託料(設計業務委託、危険度判定業務委託)、工事請負費
【意見や要望】	早期の復旧が望まれている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	外壁タイルの浮きや破損の災害復旧工事を行う。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志庁舎外壁災害復旧工事、合志庁舎内壁災害復旧工事
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア: 合志庁舎 イ: 施設	予算の主な増減の理由 工事請負費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志庁舎	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 合志庁舎 イ: 施設
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全な庁舎に復旧する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 工事進捗率 イ: %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 復旧が完了すれば事業完了となる。		総トータルコスト 全体計画 ~29年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 施設				1	1	1			
② 対象指標	ア 合志庁舎				1	1	1			
③ 成果指標	ア %				0	0	100			
投資 入 費 量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円				8,176				
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円				7,917				
(A) 事業費計	千円				0	16,093	0			
(A)のうち指定経費	千円				0	0	0			
(A)のうち時間外、特勤	千円				0	0	0			
人件費	正規職員従事人数	人			0	3	0			
	延べ業務時間	時間			0	40	0			
	(B)人件費計	千円			0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	16,093	0			

事務事業名	公有財産災害復旧事業	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 内壁災害復旧工事は入札不調のため、次年度実施となった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 監理委託、各種工事契約に基づき、復旧工事は完了する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成29年度中に復旧工事は完了見込みであり、工事完了のため実績は頭打ちとなる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 庁舎を復旧させる事業はこの事業以外にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正価格での積算をしており、官製ワーキングプアを生み出さないという観点からこれ以上の削減は難しいが、競争入札により入札残は多少発生する見込みである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在の体制で、現人員での事務量をこれ以上削減できる余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本市における行政サービスの中心となる必要不可欠な施設であるため、公平・公正が保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の行政事務を執行する施設であり、他には移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

早期の復旧が求められている。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止   休止   目的再設定   事業統廃合・連携   事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善)   事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策